



え が お び よ り

笑顔日和

平成26年4月発行

社会福祉法人 桂川福祉会

特別養護老人ホーム	明日香園
短期入所生活介護事業所	明日香園
ケアハウス	明日香園
デイサービスセンター	明日香園
在宅介護支援センター	明日香園
居宅介護支援事業所	明日香園

TEL 0948-65-5500(代)
メール asuk@lime.ocn.ne.jp

満開の桜の下で

温かな日差しとやわらかな風に包まれ
桜の香りが胸いっぱいに広がりました。



初めて『たこ焼き』作りに挑戦。

コロ!コロ!コロ!

上手に真ん丸にもできて、
とても美味しかったです。

デイサービス



鬼を追い出す前に、
一緒に記念写真。
ハイチーズ
[カシャ!]



明日香園の三人官女。
いつも仲よく
過ごしています。



特別養護老人ホーム & ショートステイ

『春祭り』を開催

暖かい季節になりました。

特養では3月26日・27日の二日間、乾杯のあいさつとともに、春祭りを開催しました。

特養入所者やショート利用の方々にもちらし寿司や、いなり寿司、サンドイッチづくり等を手伝ってもらい、たくさんの品数を用意することができました。

久しぶりに太陽の下で食べるご飯は何よりも美味しい感じ、皆さんの箸も進み、楽しい時間を過ごすことができました。

手伝っていただいた入所者・利用者の皆さんに感謝です♡



かんぱーい!!



あら、もったいない。舐めてもいい?



いっぱいよそってね



勝



美味しそうでしょ?



意外と難しいなあ



上手くできたよ♡



はい、どーぞ!



それもちょうだい!

お誕生日 おめでとう



大正5年1月5日生まれ
98才



大正11年1月6日生まれ
92才



昭和3年1月9日生まれ
86才



大正14年1月10日生まれ
89才



大正12年1月15日生まれ
91才



昭和2年1月15日生まれ
87才



大正11年1月18日生まれ
92才



昭和19年1月23日生まれ
70才



昭和7年2月1日生まれ
82才



昭和8年2月10日生まれ
81才



大正12年2月18日生まれ
91才



昭和2年2月20日生まれ
87才



大正12年3月1日生まれ
91才



昭和4年3月13日生まれ
85才



大正15年3月15日生まれ
88才



大正15年3月15日生まれ
88才



昭和10年3月16日生まれ
79才



昭和5年3月24日生まれ
84才



他にも23名の方が
お誕生日を迎えられました。
皆様、お誕生日
おめでとうございます。

碓井赤松屋公園での花見

3月27日

天候にも恵まれ、桜もほぼ満開。地元の方にもあまり知られていない隠れた桜の名所。

静かな公園でしたが、ラジカセから流れる歌に合わせ、桜の木の下で、歌って、踊って、楽しく過ごし、にぎわいました。

来年もこのメンバーで楽しく花見に行きたいと思います。



ケアハウス



初ジョイフル



はじめての『ジョイフル』での食事。

皆さん、「何を食べようか?」と悩み、周りの方と相談し合いながら、メニューを選ばれていました。

ほとんどの方がお肉を選ばれ、「外での食事は美味しい」と大喜び!

また、食後のデザートにパフェも食べたいと言われ、完食。とても満足されていました。



投稿コラム 緑のしづく



編集後記

映画『永遠の0「ゼロ』のヒットでそれに関係する資料館等を見学に行く人が増したという。神風特別攻撃隊が沖縄戦に向けて出撃した陸軍知覧飛行場があつた鹿児島県南九州市には、知覧特攻平和会館がある。見学に行かれた方も多いと思うが、展示している写真や遺書などを見ると万感胸に迫ってしまう。

福岡県の大刀洗町と筑前町にまたがつてゐた陸軍太刀洗飛行場が特攻出撃基地であったことはあまり知られていない。当時はここに飛行学校の本校があり、知覧にはその分校があつたという。知覧に立派な平和会館が設立され、本校の太刀洗に記録を残す資料館がないのはいけないと、有志が集い旧国鉄太刀洗駅舎に戦争資料を展示了。それが現在、筑前町にある大刀洗平和記念館の前身になつたものと考えられる。

その有志の一人で、小生の親類でもある現記念館人見名譽館長からは、「戦争を絶対に風化させてはならない」と、子どもの頃によく言い聞かされてきた。その言葉の意味が解る年齢となり、重い言葉だと実感している。

また、ここには日本で唯一現存する実機の零式艦上戦闘機32型が展示してあり、NHKテレビ『証言記録・兵士たちの戦争(3)』で紹介された特攻専用機「桜弾機・四式重爆撃機」の資料も充実している。

知覧までは遠いと思われる方は一度足を運ばれたらいかがだろうか。地元にもこんな戦争記録があるのかと驚かれるに違いない。

帰郷、そして母の介護

桂川町 山本 章

私は仕事の都合で、東京・三重・熊本と転勤して参りましたが、平成15年に一人暮らしの母が転倒し、大腿骨を骨折したため、退院後の日常生活が困難になるであろうとう思いから、退職まで約2年を残して桂川町に戻つてしましました。

当初は熊本市に建てた自宅を増築するなど、母を呼び寄せ介護をする準備をしていましたが、亡くなつた父との想い出が詰まつた桂川の地で生活を続けたいという母の希望があり、老いた母の最後の願いと思い、帰郷して介護をすることを決めました。

当時、生活の場として熊本市に慣れ親しんでいた妻と、鹿児島大学で学んでいた長女の教育問題など解決しなければならないことも数多くありました。家族の理解が得られたことを心から感謝しています。

歩行もままならない状態の母をどう援助すればよいのか解らず、不安の多いなか、熊本と福岡を行き来しながら、まずは介護保険の申請を行い、いろいろと勉強するうちに、制度をどう活用したらよいか少しづつ解つてきました。

母が要介護状態となり、担当のケアマネジャーから、とても親切に助言や提案をしていただき、明日香園のデイサービスを、平成21年から現在に至るまで、週3回利用しています。

防火対策 3事業所表彰

飯塚地区消防本部

適切な設備管理、訓練実施

消防用設備等の設置及び維持管理が適切で、かつ、防火管理制度の確立がある事業所に対して実施しています。

今年は、高齢者住宅「すらん様」、緑福祉社会「誠心園」及び特別養護老人ホーム「明日香園」の3事業所を表彰いたしました。

3事業所には、他の事業所の複数となられるべく、今後とも火災予防の普及活動にご協力をお願いします。

飯塚地区消防本部のホームページにも掲載されています。



飯塚地区消防本部は5日、防火対策を積極的に推進している3事業所を表彰した。春季全国火災予防運動(1~7月)の一環で、消防用設備の維持管理や訓練を適切に行っている管内事業所を毎年表彰している。今年で45回目。防長(60)が「今後も強い防

平成26年3月7日 西日本新聞より

平成26年優良事業所表彰

平成26年3月5日、飯塚地区消防本部において、平成26年度優良事業所表彰が行われました。

この表彰は、消防用設備等の設置及び維持管理が適切で、かつ、防火管理制度の確立がある事業所に対して実施しています。

今年は、高齢者住宅「すらん様」、緑福祉社会「誠心園」及び特別養護老人ホーム「明日香園」の3事業所を表彰いたしました。

3事業所には、他の事業所の複数となられるべく、今後とも火災予防の普及活動にご協力をお願いします。



表彰式の様子